

ラップブロック工法(擁壁用)

NETIS掲載終了
KT-020077-V

NNTD
1173

ラップブロック工法《擁壁用》とは、鉄筋で連結した5個の擬似自然石(1セット)にパネル付アンカー部材を控え材として一体化し、裏込材を充填しながら積上げるアンカー式擁壁工法です。

●特長

1.経済的

胴込・裏込コンクリートが不要です。
従来のブロック製品に比べて経済的で、工期も短縮します。

2.カーブ施工が容易

5個の擬似自然石は鉄筋で連結されており、R10m程度まで施工可能です。

3.高い透水性

製品の透水性が高く、湧水の影響がある場所にも有効です。

4.景観性に配慮

ブロック単体が小型のため、圧迫感を与えません。
深目地の擬石模様となるため、周辺の景観に馴染みます。

5.簡単施工

ユニット化(0.5m/セット)されたブロックを据え付けるだけで施工が簡単です。



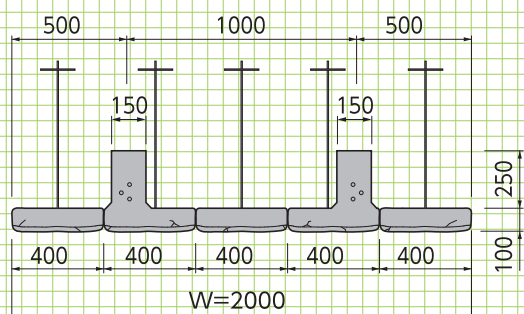
■適用工種 道路・土地造成・施設整備

■適用勾配 1 : 0.3~0.5

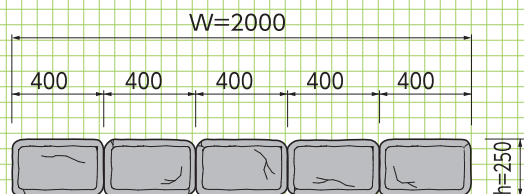
基本形状図

形状・寸法

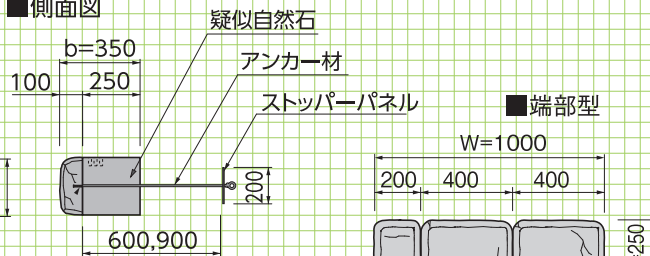
■平面図



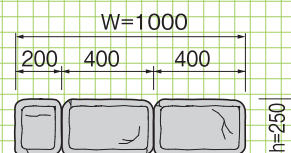
■正面図



■側面図



■端部型



■材質・仕様

名 称	材 質	仕 様
コンクリートブロック	普通ポルトランドセメントまたは高炉セメント	設計基準強度 $f'_{ck}=18N/mm^2$
アンカー材	亜鉛アルミ合金メッキ鉄線(500g/m ² 、アルミニウム10%含有)	線径=6mm(転造ネジ部6.8mm)、L=600または900mm
ストッパーパネル	ABS樹脂	t=6mm、口200×200mm
固定ピン	亜鉛アルミ合金メッキ鉄線(500g/m ² 、アルミニウム10%含有)	φ10mm、L=35mm
アンカー充填剤	シリコン樹脂	1成分オキシム型
土砂安定シート	ポリエステル繊維	t=0.5mm

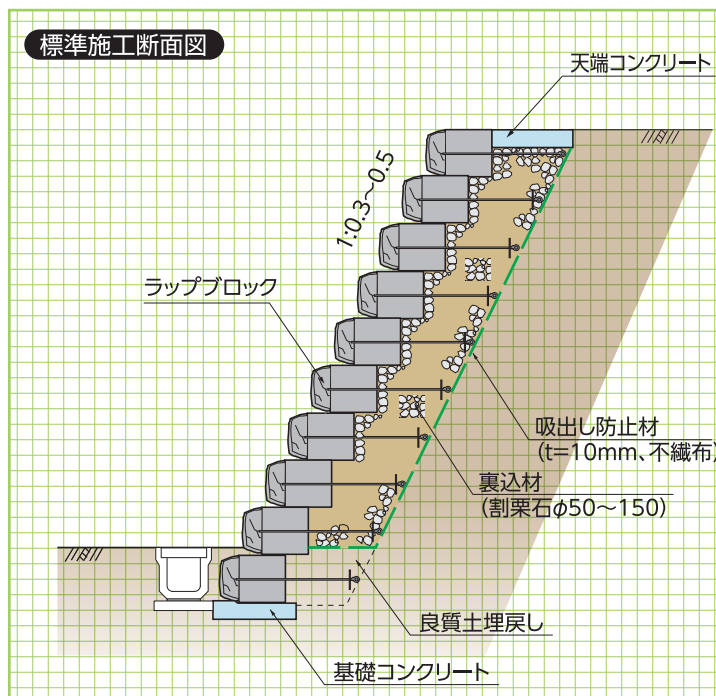
多段積工(裏込材割栗石タイプ)

標準断面図

裏込材に割栗石(φ50~150mm)を充填して多段に積上げるタイプです。
湧水や地下水の影響のある場所に有効です。



※裏込材に砕石(0~40mm)を充填・転圧して多段に積上げるタイプもございます。



■規格・数量(多段積み工)

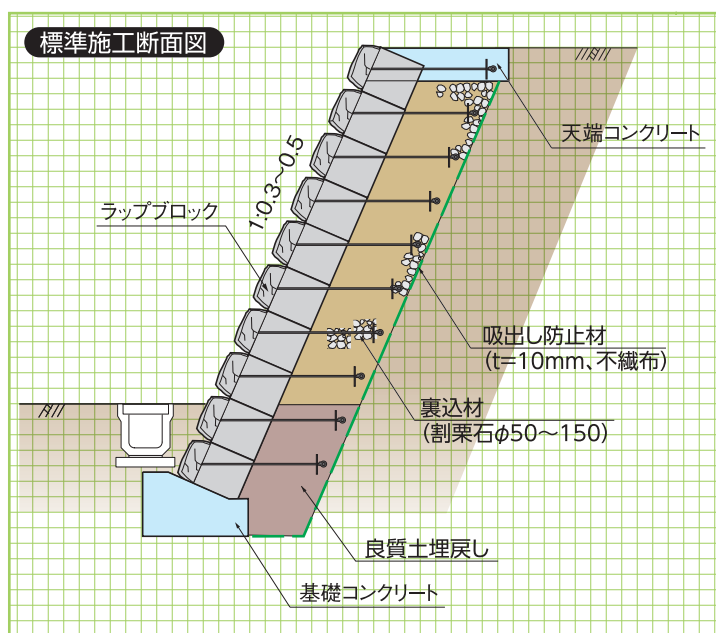
※法勾配1:0.5の場合

規格	形状	標準数量	裏込材量	参考重量
600型	W2000×h250×b350 アンカー長L600、パネル口200	1.79セット/m ²	0.539m ³ /m ²	133kg/セット
900型	W2000×h250×b350 アンカー長L900、パネル口200	1.79セット/m ²	0.807m ³ /m ²	133kg/セット

※直高が高くなる場合土質条件や載荷条件により、アンカー長が規格よりも長くなる場合があります。

布積工(裏込材割栗石タイプ)

裏込材に割栗石(φ50~150mm)を充填して、勾配積みにするタイプです。
既設間知ブロックの連続性の確保に有効です。



■規格・数量(多段積み工)

※法勾配1:0.5の場合

規格	形状	標準数量	裏込材量	参考重量
600型	W2000×h250×b350 アンカー長L600、パネル口200	2.00セット/m ²	0.534m ³ /m ²	133kg/セット
900型	W2000×h250×b350 アンカー長L900、パネル口200	2.00セット/m ²	0.803m ³ /m ²	133kg/セット

※直高が高くなる場合土質条件や載荷条件により、アンカー長が規格よりも長くなる場合があります。

擁壁類

河川関連

道路関連

管渠類

側溝類

貯水槽関連

景観関連・その他